

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	必修
担当教員			
須谷 和子			
木3、4			
添付ファイル			

科目の概要	ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育として、妊娠・授乳期、乳幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期、障がい者への栄養教育の特徴、栄養教育の目標や方法について学ぶ。
授業の内容	<p>第1回 栄養教育論Ⅰ・Ⅱの振り返り 授業の進め方・評価等について説明 キーワードの復習</p> <p>第2回 妊娠・授乳期を対象とする栄養教育① 妊娠・授乳期の栄養教育の特性と留意事項</p> <p>第3回 妊娠・授乳期を対象とする栄養教育② 母性の育成と栄養教育について学ぶ</p> <p>第4回 妊娠・授乳期を対象とする栄養教育③ 妊娠・授乳期の栄養教育のためのアセスメントを学ぶ</p> <p>第5回 妊娠・授乳期を対象とする栄養教育④ 妊娠・授乳期の栄養教育のためのアセスメントを理解し、栄養教育案を立てる</p> <p>第6回 乳幼児期を対象とする栄養教育① 乳幼児期の栄養教育の特性と留意事項</p> <p>第7回 乳幼児期を対象とする栄養教育② 乳幼児の食事、生活リズムの形成、味覚・嗜好の形成と栄養教育について学ぶ</p> <p>第8回 乳幼児期を対象とする栄養教育③ 乳幼児期の栄養教育のためのアセスメントを理解し、栄養教育案を立てる</p> <p>第9回 学童期・思春期を対象とする栄養教育① 学童期・思春期の栄養教育の特性と留意事項</p> <p>第10回 学童期・思春期を対象とする栄養教育② 学童期・思春期の栄養教育のためのアセスメントを理解し、学校における食に関する指導（食育）推進への理解を深める</p> <p>第11回 学童期・思春期を対象とする栄養教育③ 学童期・思春期の栄養教育案を立てる</p> <p>第12回 成人期を対象とする栄養教育① 成人期の栄養教育の特性と留意事項</p> <p>第13回 成人期を対象とする栄養教育② 成人期の栄養教育案を立てる</p> <p>第14回 高齢期を対象とする栄養教育 高齢期の栄養教育の特性と留意事項をふまえて、栄養教育案を立てる</p> <p>第15回 障がい者を対象とする栄養教育 障がい者の特性と留意事項をふまえて、栄養教育案を立てる</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	栄養教育論Ⅰ、Ⅱで学んだことをベースに、個人及び集団の健康・栄養状態・食行動・食環境などに関する情報収集と分析を行う。それらを総合的に評価・判定することができるようになることを目的とする。対象に応じた栄養教育のプログラムを作成し、実践、評価を行い、総合的なマネジメントに発展させることができるようになる。
授業の方法	講義形式を主とし、課題作成やグループワークを取り入れる場合もある。 管理栄養士国家試験対策についても重点をおき、毎時授業開始前に練習問題を配布し、解答・解説を行う。
成績評価の方法	定期試験（80%） 課題提出（15%） 授業参加態度（5%）
教科書・テキスト	栄養教育論Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト 随時プリントを配布する。
参考書	授業時に指示する。

授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	事前学習：栄養教育論Ⅰ・Ⅱの復習 事後学習：栄養教育案の作成など、課題、グループワークとして評価するため 授業時間外で課題を調べたり、パワーポイント作成を通して学習目標の到達を目指す
履修上の留意事項	
オフィスアワー	水曜日 2限目
課題に対するフィードバックの方法	グループワークについては、クラス内でお互いの出来栄を評価することがある。 課題については、授業時間内に解答・解説の時間を設けたり、添削後 後日返却する。
実務経験	管理栄養士
その他	